

令和4年度

学生によるオレンジリボン運動

梶山女学園大学 実施報告書



実施主体 梶山女学園大学 教育学部 有志

実施内容 名古屋市千種区役所オレンジリボン啓発コーナーでの啓発活動

①事前に取り組んだ内容

標語の応募に際して、児童虐待防止全国ネットワークのHP等を見るなどして、各自が児童虐待防止やオレンジリボンについて知識を深めた。

授業等で3年生が作成した児童虐待に関するパネルを用いて児童虐待について理解を深めた。

名古屋市中央児童相談所職員より児童相談所の役割や虐待についての講演を聞き、児童虐待の現状について話を伺った。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

名古屋市では、条例により毎年5月と11月を「児童虐待防止推進月間」と定めており、その2回千種区役所あじさい広場へ児童虐待防止への理解を深めるパネルの作成・展示を行った。

千種区の児童虐待防止啓発標語に学生が応募した。入賞者の標語が1年間の児童虐待防止標語としてアピールされた。

大学祭では、子ども向けブースにポスターの掲示と来場者へオレンジリボンを配布した。

③オレンジリボン運動を終えて・・・

標語の応募に際して、初めてオレンジリボンのことを知った。保育者として今後どのように児童虐待という問題へかかわっていくか考えるきっかけとなった。

市民の方へ児童虐待とはどのようなことか、189の番号を広めていくにはどうしたらよいか。どのような防止対策があるかなどを考えながら、市民の方に興味を持ってみていただけるように親しみやすい啓発パネルを作成した。作成に当たり自分も理解が深まった。2回目は、学生からのメッセージを掲示し、そこへ市民の方からのメッセージを貼ってもらう活動を行った。189の番号やオレンジリボンを啓発できる装飾を工夫することができた。

標語



学生からのメッセージ



千種区役所あじさい広場掲示



【梶山女学園大学】 <https://www.sugiyama-u.ac.jp/>